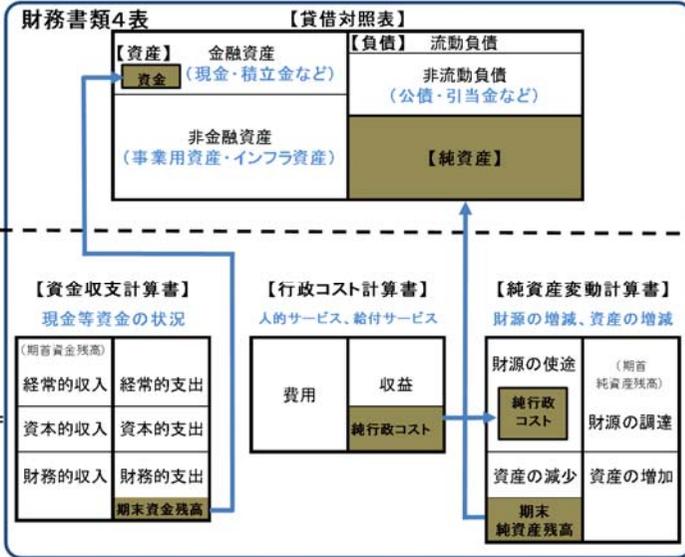


# 松戸市の財務書類について

## 歳入・歳出決算と財務書類の関係(概要 p.1)

ストックの情報

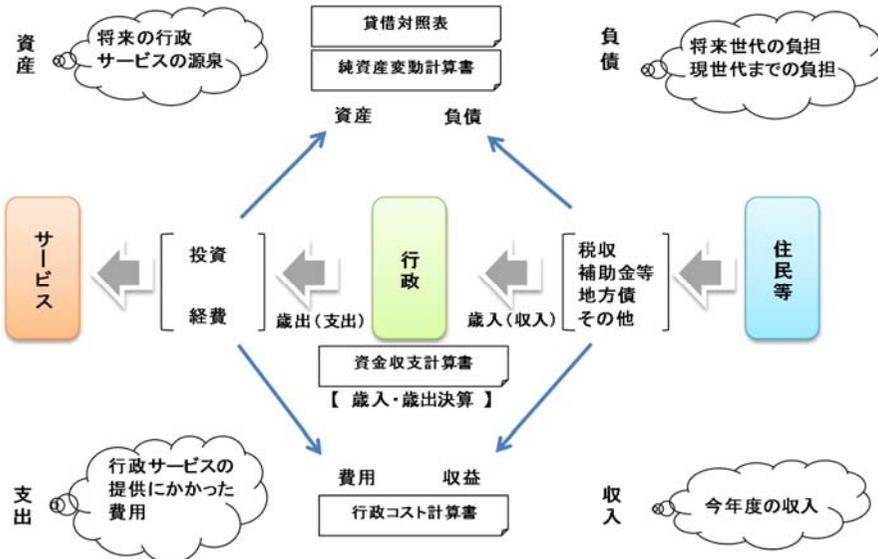


フローの情報

【歳入・歳出決算】



## 自治体の行政活動と財務書類(概要 p.1)



## 27年度財務諸表(概要 p.5~)

○ 貸借対照表(連結)全体と市民1人あたりの比較

	全体	市民1人あたり		全体	市民1人あたり
<b>資産の部</b>	<b>8,768億円</b>	<b>179万円</b>	<b>負債の部</b>	<b>2,227億円</b>	<b>45万円</b>
金融資産	690億円	14万円	流動負債	203億円	4万円
うち資金	208億円	4万円	非流動負債	2,024億円	41万円
非金融資産	8,077億円	165万円	うち公債	1,604億円	33万円
うち事業用資産	1,904億円	39万円	<b>純資産の部</b>	<b>6,541億円</b>	<b>134万円</b>
うちインフラ資産	6,174億円	126万円	<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,768億円</b>	<b>179万円</b>

○ 会計別内訳

		資産	負債	純資産	純行政コスト	期末資金残高
地方公共団体単体の財務書類	一般会計(普通会計)	7,373億円	1,337億円	6,037億円	1,151億円	100億円
	特別会計					
	国民健康保険特別会計	104億円	3億円	101億円	577億円	25億円
	松戸競輪特別会計	29億円	1億円	28億円	▲1億円	10億円
	下水道事業特別会計	900億円	587億円	313億円	▲3億円	2億円
	公設地方卸売市場事業特別会計	0億円	1億円	▲1億円	1億円	0億円
	駐車場事業特別会計	7億円	-	7億円	▲0億円	1億円
	介護保険特別会計	29億円	3億円	26億円	297億円	17億円
	後期高齢者医療特別会計	1億円	2億円	▲1億円	46億円	0億円
	企業会計					
	病院事業会計	212億円	117億円	95億円	32億円	18億円
	水道事業会計	173億円	93億円	80億円	▲6億円	17億円
	相殺消去等	▲191億円	-	▲191億円	▲143億円	0億円
	<b>単体合計</b>	<b>8,638億円</b>	<b>2,143億円</b>	<b>6,495億円</b>	<b>1,953億円</b>	<b>190億円</b>
	一部事務組合・広域連合					
	北千葉広域水道企業団	47億円	19億円	28億円	▲2億円	5億円
	千葉県後期高齢者医療広域連合	9億円	-	9億円	346億円	7億円
	外郭団体					
	松戸市土地開発公社	68億円	59億円	9億円	0億円	2億円
	(公財)松戸市文化振興財団	8億円	3億円	6億円	1億円	3億円
	(社福)松戸市社会福祉協議会	4億円	2億円	2億円	2億円	1億円
	(公財)松戸市みどりと花の基金	5億円	0億円	5億円	0億円	0億円
	(公社)松戸市シルバー人材センター	2億円	1億円	1億円	0億円	1億円
(公財)松戸市国際交流協会	3億円	0億円	3億円	0億円	0億円	
相殺消去等	▲17億円	0億円	▲16億円	▲9億円	▲0億円	
<b>連結合計</b>	<b>8,768億円</b>	<b>2,227億円</b>	<b>6,541億円</b>	<b>2,293億円</b>	<b>208億円</b>	

注: 億円単位で四捨五入しているため合計において一致しない場合があります。  
注: 会計間取引は相殺消去において整理しています。

# 平成27年度決算 松戸市の財務書類4表(連結ベース)のあらまし

## 貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

決算時点において市が保有する全ての「資産」と「負債」をまとめたストックの財政状態を表した財務書類

(単位: 億円)

	H27年度		H26年度	増減	H27年度		H26年度	増減
		構成比				構成比		
<b>【資産の部】</b>								
1. 金融資産	690	7.9%	651	39	203	2.3%	192	11
<b>資金</b>	<b>208</b>	<b>2.4%</b>	<b>200</b>	<b>8</b>	<b>65</b>	<b>0.7%</b>	<b>62</b>	<b>3</b>
金融資産(資金以外)	482	5.5%	451	31	138	1.6%	130	8
債権	123	1.4%	120	3				
有価証券	18	0.2%	20	△2				
投資等	341	3.9%	312	29				
2. 非金融資産	8,077	92.1%	7,974	103	2,024	23.1%	1,998	26
事業用資産	1,904	21.7%	1,827	77	1,663	19.0%	1,637	26
インフラ資産	6,174	70.4%	6,147	27	250	2.9%	257	△6
繰延資産	-	0.0%	-		111	1.3%	105	6
<b>負債合計</b>	<b>2,227</b>	<b>25.4%</b>	<b>2,190</b>	<b>37</b>				
<b>【純資産の部】</b>								
<b>純資産合計</b>	<b>6,541</b>	<b>74.6%</b>	<b>6,435</b>	<b>106</b>				
<b>資産合計</b>	<b>8,768</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,625</b>	<b>143</b>	<b>8,768</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,625</b>	<b>143</b>

○平成27年度の資産合計は8,768億円、負債合計は2,227億円、純資産合計は6,541億円となりました。  
 ○平成26年度と比較した大きな増減は以下のとおりです。  
 ・資産は、財政調整基金への積立等により金融資産は増加。非金融資産は、小中学校全校の耐震化や東松戸小学校の建設により事業用資産が増加し、都市計画道路等の整備等によりインフラ資産も増加。  
 ・負債は、公債の増加等により増加。  
 ○一人当たりの貸借対照表を隣接市と比較すると、  
 ・非金融資産は、大規模事業が既に完成し、減価償却により資産が減少局面にあること等により、資産合計では低い水準にあります。  
 ・負債は、公債残高等から、やや高めの水準にあります。

### <参考>

連結貸借対照表(H26決算)の隣接市比較(市民1人当たり) (単位: 円)

	松戸市	隣接市	松戸市	隣接市
<b>資産の部</b>	<b>1,767,729</b>	<b>2,296,017</b>	<b>448,897</b>	<b>435,405</b>
金融資産	133,451	138,309	39,360	51,857
うち資金	40,957	44,153		
非金融資産	1,634,278	2,157,709	409,537	383,548
うち事業用資産等	366,347	521,069	323,445	285,745
うちインフラ資産	1,267,931	1,636,640		
<b>負債の部</b>				
流動負債			39,360	51,857
非流動負債			409,537	383,548
うち公債			323,445	285,745
<b>純資産の部</b>			<b>1,318,832</b>	<b>1,860,612</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,767,729</b>	<b>2,296,017</b>	<b>1,767,729</b>	<b>2,296,017</b>

## 資金収支計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1年間の行政活動に伴う現金等の資金の流れを性質の異なる3つの活動に分けて表した財務書類

(単位: 億円)

	H27年度	H26年度
<b>I. 経常的収支 (A)</b>	<b>202</b>	<b>204</b>
1. 経常的支出 (人件費、物件費、補助費など)	2,747	2,581
2. 経常的収入 (市税、地方交付税、業務収益など)	2,949	2,785
<b>II. 資本的収支 (B)</b>	<b>△189</b>	<b>△182</b>
1. 資本的支出 (資産形成のための支出)	207	235
2. 資本的収入 (資産売却などによる収入)	18	53
<b>基礎的財政収支 (A)+(B)</b>	<b>13</b>	<b>23</b>
<b>III. 財務的収支 (C)</b>	<b>△5</b>	<b>△20</b>
1. 財務的支出 (市債の元利償還など)	541	547
2. 財務的収入 (市債の調達など)	537	527
<b>当期資金収支額 (D)=(A)+(B)+(C)</b>	<b>9</b>	<b>3</b>
<b>期首資金残高 (E)</b>	<b>200</b>	<b>197</b>
<b>期末資金残高 (D)+(E)</b>	<b>208</b>	<b>200</b>

○平成27年度は、経常的な行政活動において生じた202億円の資金余剰額が、資本的収支と財務的収支の資金不足を上回り、全体では資金流入の状態です。  
 ○このため、平成27年度末資金残高は、平成26年度末より当期資金収支が8億円増加し、208億円となりました。  
 ○基礎的財政収支(プライマリーバランス)は、プラスを計上しており、行政サービスの経費が税金などの収入で賄えている状況となっています。

## 行政コスト計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1年間に提供した行政サービスのうち、資産形成につながらない人的サービスや給付サービス等の費用を表した財務書類

(単位: 億円)

	H27年度	H26年度
<b>1. 経常業務費用</b>	<b>1,072</b>	<b>1,001</b>
①人件費(職員給与など)	412	391
②物件費(消耗品、維持補修費など)	164	159
③経費(事務費、委託費など)	292	256
④業務関連費用(支払利息など)	204	195
<b>2. 移転支出(社会保障給付・各種団体への補助金など)</b>	<b>1,760</b>	<b>1,642</b>
<b>経常費用合計(総行政コスト) A</b>	<b>2,832</b>	<b>2,643</b>
経常業務収益(使用料・手数料など)	539	517
<b>経常収益合計 B</b>	<b>539</b>	<b>517</b>
<b>純経常費用(純行政コスト) A-B</b>	<b>2,293</b>	<b>2,126</b>

○平成27年度の総行政コストは、2,832億円となりました。  
 ○平成26年度と比較して、委託費等の経費の増加や補助金等の移転支出が増加したことにより、総行政コストは189億円増加しました。  
 ○経常収益を差し引いた純行政コストは1,67億円増の2,293億円となりました。  
 ○一人あたり純行政コストは、46万円であり、平成26年度に比べ、移転支出等が増加し、高い水準となっています。

## 純資産変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

貸借対照表の純資産の部の1年間の変動要因を表した財務書類

(単位: 億円)

	H27年度	H26年度
<b>前期末残高</b>	<b>6,435</b>	<b>6,445</b>
<b>【財源変動の部】</b>	<b>△32</b>	<b>△33</b>
1. 財源の使途 (純行政コストや資産形成への財源など)	2,575	2,458
①純経常費用	2,293	2,126
②固定資産形成	182	186
③長期金融資産形成	45	73
④その他	55	73
2. 財源の調達 (市税、地方交付税、国県補助金など)	2,543	2,425
①税収	776	745
②社会保険料	243	236
③移転収入等	1,524	1,444
<b>【資産形成充当財源変動の部】</b>	<b>133</b>	<b>96</b>
1. 固定資産の変動 (土地・建物などの増減)	104	47
2. 長期金融資産の変動 (出資金、貸付金、基金などの増減)	29	49
3. 評価・換算差額等の変動 (資産の再評価等による増減)	0	0
<b>【その他の純資産変動の部】</b>	<b>5</b>	<b>△74</b>
<b>当期変動額合計</b>	<b>106</b>	<b>△10</b>
<b>当期末残高</b>	<b>6,541</b>	<b>6,435</b>

○平成27年度末の純資産残高は、平成26年度末残高より当期変動額106億円増加し6,541億円となりました。  
 ○当期変動額合計での、平成26年度との比較は116億円増加しました。

・この財務書類は、現金主義会計により作成した「予算書」、「決算書」を補完するとともに、財政の透明性を高め、市民に対する説明責任をより適切に果たすとともに、一層の財政の効率化・適切化を図る観点から、総務省より示された「基準モデル」により作成し、公開するものです。

・計数は、「連結ベース」(一般会計、特別会計、企業会計(水道・病院)、財団法人等外郭団体の合計)で作成しています。また、億円単位で四捨五入しているため合計において一致しない場合があります。

・隣接市のデータは、松戸市近隣の団体のうち、基準モデルで平成26年度財務書類を作成・公表している4団体(市川市、流山市、習志野市、鎌ヶ谷市)の市民一人当たり単純平均であり、参考までに当市の平成26年度決算と比較したものです。